



自然・歴史・文化・スポーツに親しみ、
体験をとおして子どもの社会性や郷土への愛着を育みます。
子ども一人一人に合った教育環境づくりを目指します。

「教育」琴浦町の特徴

1 「誰一人取り残さない」質の高い教育の実現

国の基準を上回る少人数学級編成のほか、必要に応じて学習支援員を配置し、一人一人のニーズにあった教育を進めています。デジタル教材を積極的に取り入れるとともに、ICT活用のための環境整備や教職員研修を実施することで、さらに質の高い教育を目指しています。また、国際社会で通用する人材育成を目指して英語力向上のための取り組みを行うなど、特色ある教育を推進しています。

- ICT活用教育推進体制の整備 ● デジタル教材、教育システムの導入
- 小中学校へのALT(外国語指導助手)、英語指導支援員の配置 ● 英語技能検定に対する助成
- 少人数学級の実現と学習支援員の配置 ● フリースクール授業料助成
- 進学奨励金、通学費助成等による経済負担の軽減 ● 学校現場における働き方改革の推進

2 ふるさとを誇りに思う教育の推進

地域の自然や歴史・文化、産業、人を教材とした、ふるさと教育に取り組むことで地域のことを知り、生まれ育ったふるさとへの愛着と誇りを持つとともに、社会に貢献する人づくりに取り組んでいます。また、学校ごとに地域ぐるみで子どもたちを育てる体制づくりを進めています。

- コミュニティ・スクールの導入 ● 地域人材を講師とする学習の実施
- 地域資源を活用した体験活動や教育活動の推進 ● 地域食材を活用した学校給食の実施 ● 環境学習の実施

3 地域を支える人材の育成と環境整備

子どもから大人まで、生涯にわたって心豊かに学び、文化芸術に親しみ、スポーツを楽しむことができる機会を提供します。誰もが住み慣れた地域で安心して自分らしい暮らしが実現できるよう、地域主体のまちづくりを進めるとともに、豊かな人間性や人間関係を育む人権教育の場を提供します。

- 年代に応じた講座などの開催 ● まちなか図書館などによる読書機会の拡充
- 地域文化芸術団体などの活動支援 ● 各種スポーツ大会や教室の実施
- 社会教育、体育施設の再整備 ● 人権教育、啓発活動の推進



①琴浦町の食材を使った給食を楽しむ小学生 ②グループ学習でタブレットを使い発表する中学生 ③ふるさと教育の一環として町内各小学校で行っている梨の栽培体験 ④琴浦こども塾で百人一首に親しむ塾生たち

これからの琴浦町

未来の社会を担う子どもたちには、自ら課題を見つけ、学び、考え、判断して行動する力が求められています。こうした力を身につけるため、ICTの活用のほか、実際に「見て」「聞いて」「体験する」など、興味と関心を持って学ぶことができる体制や仕組みづくりを行います。学校と地域の連携と協働をさらに深め、地域に愛着と誇りを持つ人材を育てます。

